

## はじめに

2013 年は、第 2 次安倍政権によるアベノミクスと呼ばれる経済政策により、円安・株高などにより輸出企業を中心に企業の業績は改善され景気は回復傾向にあります。しかし、依然続く日中関係の悪化や消費税率の引き上げなど、今後の先行きが不透明な部分も残っています。

情報機器関連では、「iPhone 5s」や「Nexus 7」の発売などにより、昨年引き続きスマートフォンやタブレットが急増しました。また、LTE の普及により誰もがいつでも手軽にインターネット環境にアクセスできるようになってきました。これによりライフスタイルも変化しつつあります。今後は、BYOD やエンタープライズソーシャルなどによりオフィス内でのワークスタイルも変わっていくと予想されます。

技術調査小委員会は、協会事業に関連する技術調査を主な業務としており、本年度も昨年同様に「当産業協会会員各社の大きなビジネス領域を占める画像技術とそれを取り巻くハードウェア・ソフトウェア技術に関する先端技術の調査・検討を行ない、広く会員各社に紹介し、技術の向上に寄与する。」ことを基本方針として活動をおこないました。本報告書では、その活動を報告します。

本年度は、講演会を 2 件、現地調査を 2 件実施しました。

講演会としては、一つ目は「クラウド時代の働き方とオフィス／ツール」というテーマで、新しい働き方とこれからのオフィスに関する講演会を実施しました。二つ目は「リコーの省資源材料開発への取り組み」というテーマで、複合機やプリンターなどの省資源化材料への取り組みに関する講演会を実施しました。

現地調査としては、最先端の移動通信技術の研究開発に取り組んでいる「NTT ドコモの R&D センタ（展示ホール「WHARF）」、将来社会の ICT の利用活用が体験できる「富士通 netCommunity」の見学会を実施しました。

講演会、現地調査とも、どれもとても有益な情報を得ることができ、参加された方々の今後に十分役立てたのではないかと考えております

技術動向については、本年度は昨年度同様に記録方式による分類ではなく、プロダクションプリンター、オフィス機器、産業用プリンターとして用途により分類し、その技術関連の動向をまとめました。

本年度の報告書も、例年通り PDF による電子文書での配布といたしました。会員各社の皆様に広くご活用いただき、今後の会員各社の更なる発展に寄与できれば幸いです。

最後に、お忙しい中活動にご協力いただいた、会員各社、講演会講師の皆様、現地調査の関係の皆様、ならびに当小委員会委員、事務局の皆様には、心より感謝申し上げます。

2014 年 6 月

技術委員会 技術調査小委員会  
委員長 西原 雅宏

禁 無 断 転 載

2013 年度「ビジネス機器関連技術調査報告書」“はじめに”部

発行 2014 年 6 月

一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会 (JBMIA)

技術委員会 技術調査小委員会

〒108-0073 東京都港区三田三丁目 4 番 10 号リーラヒジリザカ 7 階

電話 03-6809-5010(代表) / FAX 03-3451-1770